



後期に向けて

10月10日の始業式で、2組の渡邊心美さんが学年の代表として「後期の抱負」を発表しました。




中学生になって、私は初めて経験したことがたくさんありました。定期テスト、部活動、委員会、体育祭、新人戦等、様々な経験を通してたくさん成長する機会がありました。後期も様々な経験を通して、たくさん成長していくために頑張っていきたいと思います。



その中でも私が後期に向けて頑張りたいことは、2つあります。1つ目は合唱祭です。今年の合唱祭で私は、実行委員になりました。1年2組のみんなと協力して、初めての合唱祭を素敵な思い出に残るものにしたいです。先週から合唱祭強調週間に入っているの、これまで以上に練習に力を入れていきたいです。2つ目はテスト勉強です。小学校の頃と違い、授業をしっかり聞くだけでなく、テスト前にテスト勉強をするようになりました。しかし、1回目のテストの結果に満足し、2回目のテストは、十分にテスト勉強をやりませんでした。本当は「やらなければならない」と分かっていたけど、心のどこかで「もう大丈夫」と思ってしまいました。その結果、5教科すべての点数が下がってしまいました。特に、1番得意だと思っていた数学は、1番下がってしまい、大きなショックを受けました。3回目のテスト勉強では、前よりも、もっと頑張りたいです。そのために、前回復習をやらなかった、数学、理科、社会の文章で答える問題や英語の教科書に出てくる文章の確認もしっかり行い、前回以上のよい結果を残したいです。

1つ1つの経験が自分の力になるように、これからも一生懸命頑張りたいです。

合唱祭 学年朝会で合唱祭の振り返りを発表しました。

1組「大切なもの」		2組「マイバラード」	
指揮 後藤 玲心 私が指揮者になって大変だったことは、伴奏と歌の速さを合わせることです。みんな伴奏よりも歌うのが速くなってしまい、伴奏と速さを合わせるのが大変でした。また、指揮者の動きを覚えるのが大変でした。リハーサルのときは、練習のときよりも声が小さく、歌が速くなってしまっていたので不安でしたが、合唱祭では、上手に歌えてよかったです。		指揮 広瀬 玲 自分が指揮者として特に頑張ったことは、間違えないようにすることと、ピアノに指揮を合わせることです。緊張していても歌が始まるとその緊張が無くなって、楽に指揮をすることができました。 	
伴奏 目黒 心尋 私が大変だったことは、みんなと合わせることです。合わせるように頑張りました。来年はもっといい合唱祭になるように頑張りたいです。 		伴奏 川崎 菜央 今回、伴奏をやってみて、大変だったことは、指揮者と合わせることです。曲の始めと終わりを指揮を確認しながら合わせるのが難しく、苦戦しました。それでも自分なりにやりやすい方法を見つけ伴奏することができました。初めて伴奏をやってみただと、楽しくすることができました。ありがとうございました。	
実行委員		実行委員	
山際 楓芽 大変だったことは、みんなをまとめることです。でも本番ではうまく歌えたのでよかったです。 	佐久間 杏菜 最初はまとまらなくて、お喋りしている人もいたけど、みんなが私の指摘したことをきちんとしてくれたので、素敵な合唱になりました。すごくやりがいを感じたので、またこのようなことをやりたいです。	高野 陽翔 頑張ったことは2つあります。1つ目は、歌の教え方です。できるだけみんなに分かりやすく教えることを意識しました。2つ目は、実行委員の集まりや練習です。機材の場所や大事なことをメモして伝えました。合唱祭が上手くできて良かったです。	渡邊 心美 特に頑張ったことは、2つあります。1つ目は、1人1役を決めるときです。誰がどこに入ると一番良いか考えるのが難しかったです。2つ目は、練習の運営です。ふざけたり私語がとても多い人がいて大変だったけど陽翔さんやパートリーダーの人達と協力したおかげで歌などがどんどん良くなっていったよかったです。
学年合唱「花は咲く」			
指揮 高橋 奏輝 初めて指揮をやって緊張しましたがみんなの協力のおかげでとてもいい合唱になりました。ありがとうございました。		伴奏 小柳 要 最初は、「花は咲く」が難しく、指揮と合わせる機会が少なく不安でしたが、本番では指揮を見ながら伴奏ができて良かったです。来年は、クラス合唱を頑張りたいです。	

